



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 7月17日 第568回例会

ブッフスタイルのため卓話はごさいません。

先週報告 7月10日 第567回例会

◎会長報告

☆パストガバナー中村健二郎さんがお見えます。

◎幹事報告

☆第二回クラブ協議会が7月24日例会前11:00～12:00に開催されます。青雲の間です。

☆本年度のガバナー公式訪問は8月27日(木) 18:00～19:00 東京会館12階、東京南RCとの合同例会となります。なお、8月28日(金)の例会は8月27日(木)の合同例会へ振替となります。

◎委員会報告

☆出席委員会(佐藤委員長) 98～99年度地区大会は99年4月8日、9日にグアムで開催されます。第一次の申し込み締切りは7月30日です。

☆前年度社会奉仕委員会(吉田前委員長)協力頂きました使用済み切手、カード類多数を港区社会福祉協議会ボランティアセンターに本日持参しました。

☆社会奉仕委員会(渡邊委員) 風の子会主催「外へ出よう」運動は9月27日(日)に順延されました。車椅子の方を上野、浅草方面にお連れするものです。沢山のボランティアを必要とします。奮ってご参加下さい。

☆親睦活動委員会(圓谷委員) “暑気払いの会” 8月25日(火)6時東陽町ホテルイースト「桃園」中川俊勝料理長の中華料理をご賞味下さい。

◎慶事披露

●誕生日祝い/西澤正雄君、大日方真君(7月12日)

◎出席報告

●会員 71名/出席 45名・欠席 26名

(出席規定免除者2名)

●ビジター7名(敬称略・順不同) 酒井田正宏(ハウステンボス佐世保)、児島廣事(福岡南)、森浩生(東京)、中村健二郎(東京城西)、石黒康(東京五反田)、矢野弾(東京世田谷)、引地達郎(東京銀座)

7月理事会議事録

日 時 98年7月3日(金) 例会後 13:40～15:00

場 所 東京全日空ホテル1階 孔雀の間

出席者 宮武、小澁、小杉、宮本、小原、渡部、山下、大日方

決議事項

1. 98～99年度委員会構成を承認
2. 98～99年度活動計画、行事計画を承認
3. 各委員会の活動を承認
 - ① 社会奉仕委員会/風の子会「外に出よう」9/27に参加
 - ② プログラム委員会/7～8月卓話予定
 - ③ 職業奉仕委員会/工場見学会(10/30 富士ゼロックス工場 予定、環境保全と共催)
10月、4月職業奉仕に関する卓話を実施
 - ④ 国際奉仕委員会/米山寄付目標(功労者2名、ファンドフェロー2名準功労者3名)
 - ⑤ 親睦活動委員会/親睦旅行会(10/3,4 鳴門海峡、明石海峡大橋と六甲山方面)
暑気払いの会(8/25)
工場見学会(10/30)後の親睦会
4. 98～99年度予算案の骨子を承認
5. 忘年家族会の会員会費25,000円を上半期会費と併せて徴集することを承認
6. 第2回クラブ協議会次第を承認
7. 新会員候補者3名の推薦受付を承認
8. 出席規定免除の件/
 - ① 廣瀬哲久君 クラブ細則第9条により98年7月3日から10日の例会まで、同君の出席規定を免除することを承認
 - ② 石東嘉男君 病氣療養のためクラブ定款第7条第3節により98年7月3日の例会から当分の間、同君の出席規定を免除することを承認

報告事項

1. 第2750地区グアム地区大会の取り組み
2. ガバナー公式訪問の取り組み



7月10日/13件 41,000円
98～99年度累計 129,000円
多額のご寄付を有難うございます。

(順不同、敬称略、同文・同主旨のコメントは纏めさせて頂きました)

西澤正雄、大日方真/誕生祝い有り難うございます。
梶内滋男/前期決算がほぼ予算どおり終了しました。
柴藤清三郎、川鍋二郎/本年も宜しくお願い申し上げます。
二宮利泰/カナダから風邪を持ち帰りましたが漸く復調しました。小澁先生有り難うございました。谷村義雄、小澁雅亮、谷義一/暑くなりました。健康に留意しましょう。
保森登、平井逸夫、入沢頼二/斉藤さんの笑顔に誘われて。
斉藤茂之/本年も無借金経営です。

◎先週の卓話 「岩波文庫70年と21世紀の日本」

(株) 岩波書店 代表取締役社長 大塚信一氏



昨年の朝日新聞の元日の広告「岩波文庫の時代(いま)」は岩波文庫70年の歴史の手短な紹介になっています。「……古典はまさに人類の知恵の結晶です。21世紀を目前にして我々は先行きが見えぬあまり、ともすれば昏迷の意識にとらわれ勝ちですが、今こそ様々

な古典を参照することによって新たな一歩を確信もって踏み出すべき時ではないでしょうか。古典はいつも物事の判断の拠り所になります。古典はそれぞれの時代の要請に必ず応えてくれます。古典はいつでも時代(いま)と関わって存在しています。……」

一例を申しあげます。私たち日本人は、第二次大戦後の廃虚の中から立ち上がり、西欧文明に追いつくべく必死に勉強をしました。敗戦直後に刊行された岩波文庫のデカルトの「方法序説」は、その後の50年間に50万部も読まれました。西洋の合理的思考方法の基礎を築いたというこの本を一生懸命勉強することによって、合理的な考え方を身につけ、そして最終的には科学技術の振興により、今日西欧と肩を並べるに至りました。

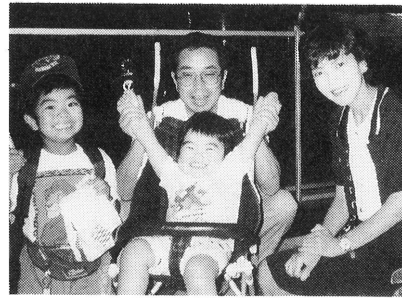
今、若い人が本を読むことから遠ざかっています。特に問題なのは古典に親しむことが少なくなっていることです。かつてはジャパンパッシング、今はジャパンパッシングといわれます。高い日本の空港や港を敬遠して、他の国に行ってしまうことを指しているだけではなく、日本文化には見るべきものがない、世界に誇る文化を失ってしまっているのではないかという危機感を象徴しています。今日のスピードの速い変革の時代に求められることは、与えられた問題にたんに答えるだけではなく、我々にとって大事なことは何かを発見する、問題発見の能力です。そのためにもまず考えるべきことは人類の結晶である古今東西の古典をひもといてそこから学ぶことではないでしょうか。普通古典というソリッドで揺るぎない基準が示されていると思いますが、古典の古典たる所以は、人間の思考の振幅が如何に大きく、それをどれだけ吸収しているかにあります。現在のように困難な時代にあって先行きが見えない時には、古典をひもとくことによって大きなヒントを得ることができるかと痛切に感じます。

日本は資源のほとんどない国です。21世紀の日本が世界に貢献できるためには、頭脳、知能、文化で貢献せざるを得ません。皆様にはあらためて古典をひもといて頂きたく、また、それにも増して周囲の若い方々に古典を薦めてほしいと思います。(文責・村山)

新会員からのメッセージ

大山 啓人 君

1997年9月19日入会
職業分類・宝石販売



早いもので、当クラブに入会させていただきましてから11ヵ月目を迎えようとしております。先日、インシエーションスピーチも無事終わり、ほっと一息、これでやっと

ドキドキの毎日から解放され、ゆったりとクラブライフを楽しもうなんて思っております。当初、私は、100%出席にこだわり、クラブの例会はもちろん他の行事にも全部参加して、一刻も早く皆様の顔を覚え積極的に行動していこうと決意しました。ところが、現実には厳しく、なかなか時間がとれず例会に出席だけでフウフウいっております。最近では、ロータリークラブの目的が「職業を通じての社会奉仕」だから、つまり仕事がうまくいかなければ社会奉仕にならないのだから、仕事優先、仕事優先と勝手な論理をふりかざし例会に出られなくても自己満足しております。

そもそも私が、クラブに入会したのは生来のネガティブ、シャイの見本のような性格であり、なんとか「踊るアホー」に見るアホー同じアホーなら踊らにゃなそんな」の踊るアホーになれないものだろうか、なんとかポジティブシンキングに切り替えないと人生大損するといった自己啓発からであり、その訓練には、優れた人々のたくさんいるロータリークラブは最適の場所と思ったからです。優れた人々と接することにより無意識のうちに自分の心、感覚、行為を高めていこうと思い100%出席にこだわったのですが、前述のようなありさまで。「人の世は、重荷を負いて遠き道をゆくがごとし、あせらず、急がず、あきらめず」徳川家康流に、これからはこれまでの気負いを少し軌道修正し、自然体にてクラブライフを楽しもうと思っております。最後に、いつも暖かい思いやりで接して下さる皆様に本当に感謝しております。今後とも、ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

次週予告 7月24日 第569回例会

卓話 識字と計算能力について—インドの現況—
奈良 康明 氏(駒沢大学仏教学部教授・前学長)

第2回クラブ協議会 例会前(11:00~12:00)
テーマ「会員増強と退会防止」

東京新南ロータリークラブ

会長: 宮武保義 副会長: 小濵雅亮 幹事: 大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004
例会日: 毎週金曜日 12時30分
例会場: 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

田中 武、小杉 眞史、小原 渉、
開発 英基、柴田 尚毅、大山 啓人、
T.CONSIGNY、水原信太郎、谷 義一、
金光 圭一、大村 富俊、村山 公士
(編集担当順)